

より良い“今”をつくる ~ 燕三条企業のSDGs改革 ~

02 材料加工 株式会社野水鋼鉄店

社員のアイデアでオンリーワン企業に

野水鋼鉄店は1907年創業の長い歴史を持つ、特殊鋼、普通鋼、表面処理鋼板などの鋼材を取り扱い、多様な設備を揃えた鋼材卸販売企業です。幅広いネットワークと知識豊富な人材力を生かし、顧客の要望に応じた材料を適格な加工で届けることができます。同社は「オンリーワン企業」を基本方針としており、社員の個性が発揮できる活動と環境づくりに励まれています。

活動は4つある社内委員会によって企画と実行が行われています。

広報委員会

「野水マガジン」という名の対外的な広報誌を月に一度発行しています。この広報誌は手書き作業にこだわり、社員の日常の様子を垣間見ることができるとして、多くの取引先から好評をいただいています。

美緑化委員会

社内の緑化を行っています。活動の一つである社屋の「屋上農園」では、時期により様々な野菜や花などの作物が栽培されています。

レクリエーション委員会

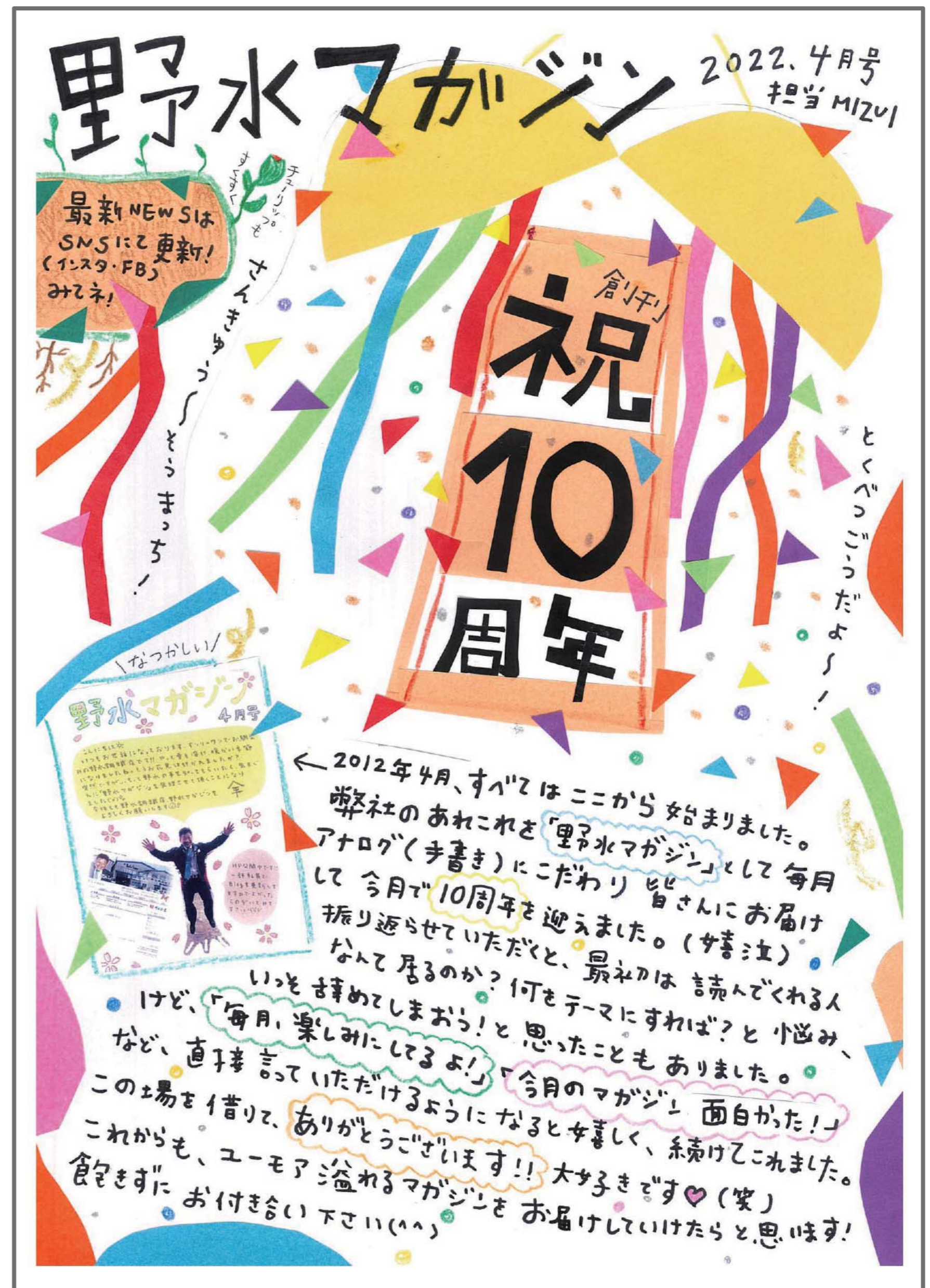
社内イベントの企画運営を行っています。その1つである「社員同士の料理対決」では、社内にある本格的な厨房施設が使用され、時には屋上農園で収穫した野菜がふるまわれることもあります。

社会貢献委員会

「社内のゴミ分別の強化」や「ゴミ拾い大会への参加」など、SDGsの基本的な取り組みが実施されています。

これら取り組みの数々は、社内委員会がある現在では社員から自然に「こんなことをやりたい」と意見が出るようになり、やりたい取り組みがどんどん貯まっているといいます。最近では、誕生日を祝う風習が薄れつつある昨今の状況だからこそ社員の誕生日を祝うなどの活動を始めています。

野水鋼鉄店の多様性に富んだ取り組みは、社員の様々な意見を反映しているからこそ生まれるものではないでしょうか。それら活動は雇用の面でも大きな収穫があり、「野水マガジン」などを入り口に、意見を出しやすい社風に惹かれ、採用に応募してくれる人が増えたともいいます。応募する人材も明るく前向きな人ばかりで、ますます社内の雰囲気は良いものになっているそうです。また、会社側も社員が心身ともにすこやかに働けるようにサポート体制を整えています。特に健康経営には力を入れており、社内禁煙や人間ドックなど検診制度の強化に努めています。その成果として、喫煙率は三分の一まで削減され、「にいがた健康経営推進企業」や「健康経営優良法人」などの認証を受けています。1日の大半を過ごす会社だからこそ、働いている時間は楽しんでもらいたい。同社の活動にはそのような温かい思いが込められています。



社屋 屋上農園

社員の誕生日を祝う会



スポGOMI大会(スポーツゴミ拾い大会)

野水鋼鉄店は他の会社であれば埋もれてしまうかもしれない、社員の長所や個性を発揮することができる企業であると思いました。

例えば「野水マガジン」では手先の器用な社員が大きな役割を果たしており、それは社内のインテリアなど他の分野でも活かされています。自分の得意分野で会社に貢献できることは、働く上でやりがいや自信、そしてパフォーマンスの向上にもなるでしょう。一見、事業とは関係ない取り組みも社員の人間力を育て、持続的な企業の成長に結びつくのだと感じました。積み重ねた材料のノウハウを伝統として継承し、働き方は時代に伴い革新していく、まさに「伝統と革新」を地で行く老舗企業です。